

サーフィンを通して人と出会えることが一番の楽しみ

海か山かと言えば、「海に近い方で開業したい」という思いがあって、この浜松の場所に店を出すことに決めました。

趣味であるサーフィンをやりはじめたのは、高校生ぐらいですかね。ですから、サーフィン歴は既に15年ほどになります。

私にとってサーフィンの魅力は、ずばり「私を飽きさせない」ということ。私自身、元来飽き性なんですけど、サーフィンは何回やっても飽きませんね。



サーフィンをやっていると思うのですが、毎回波は違うし、サーフィンをやっている瞬間っていうのは、その都度気持ちがいいし……。冬は週一回程度しか行かないのですが、海には一年を通して結構頻繁に行きますね。冬は寒い日が続くので、休みの日に行くことが多いですが、夏には仕事の前とかによく行ったりしています。サーフィン仲間などには、「肌が白い！」って言われるんですけど、自分的には他のサーファーのように黒くなりたいと思っているんですよ。サーフィンをやっているわりには、肌が白いのが気になっているんです。サーフィンは、休みがあれば友達とも行きますが、なかなか休みがあわないので、一人で出掛けることが多いですね。海にいけば、サーファー仲間に会えますし、女性のサーファーも結構多いです。

サーフィンを通して楽しいことといえば、やはりいろんな業種の人とか、普段出会わない人に会えることですね。初めて出会った人でも仲良くなったりすることが、サーフィンの魅力かもしれません。

サーフィンも仕事も自然体が大切

サーフィンとスタイリストの仕事の共通点といえば……。どちらも自然体で望めるといえることですかね。私は、スタイリストの仕事の中では、形を作り込んでいくというスタイルも好きなのですが、それ以上に自然なスタイルを大事にしています。いつでも、お客さまが元々持っている良い素材を活かして、その人に合ったナチュラルなスタイルを提供したいなって考えて仕事をしています。



中山広子さんが作った革製バッグ

サーフィン以外の趣味といえば、本屋へ行くことと、何か物を作ったりするのが好きですね。実は、今はまっているのは、革製品なんです。シダーケースとかお財布とか、バックとか、自分が欲しいものがあれば、自分で材料を買って作りますよ。「それも商売にすれば」って、よく友達に言われます。

人生を楽しむために「やりたいと思ったことはすべてやる！」

浜松は素晴らしい海があるから好きですね。皆さん、「浜松は気候がいい！」って、よく言いますよ。それから海からすぐ街があるということも浜松の魅力の一つです。

この浜松で自分の趣味を楽しんでいるわけですが、自分自身、人生を楽しむために「やりたいと思ったことはすべてやる」という気持ちで毎日を生活していますね。特に嫌なことを避けて生活しているわけではないですが、極端に言えば「楽しいことしかしない」、「楽しいと思ったことは優先的にやる」という感覚です。行動派かどうかはわかりませんが・・・。

まだまだサーフィン自体満足していないので、もっと突き詰めたいという思いがありますね。何をやるにしても、生活の中にサーフィンを入れることが今の自分にとっての生きがいなんです。例えば、海外に旅行するにしても、サーフポイントに必ず寄るとか、日本のどこかに旅行するにしても、サーフボードを持って出掛けるとか・・・。

サーフィンの技術は、全然上達していませんが、波に乗っている瞬間が楽しいですし、気持ち良いですし、海に入れることが自分にとっては一番の楽しみです。

スタイリストの仕事やサーフィンを通して感じることは、やはり人と接していく中では、「笑顔」は大切だと思っています。これからも心がけたいですね。



愛用のサーフボード